

男女共同参画が日本経済を救う(座長メモから)

女性の就業を中心とした社会参画の影響(ワーキング・グループ設置理由から)

— 女性の仕事の価値観、なりたい女性像からの考察 —

男女共同参画会議
基本問題・影響調査専門調査会
女性と経済 ワーキング・グループ 第3回

岡山慶子

2011年4月27日(水)

調査概要

■調査時期 : 2008年11月18日～20日
(男性調査 2008年12月15日～17日)

■調査対象 : 25歳～45歳の女性 2060人

* 25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～45歳 各515人

* 有職、無職を問わない。ただし学生を除く。

比較対象として男性516人

25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～45歳 各129人

* 有職者。ただしパート・アルバイトを除く。

■調査方法 : web調査

仕事の価値観 — 働く女性が、仕事に期待すること —

信頼できる上司の下、やる気になる仕事、能力が生かせる仕事をしたい。

仕事をする上で

重要と考えるベスト3は

①「やる気になる仕事であること」
(かなり重要 36% まあ重要 47%)

②「上司が信頼できること」
(同36% 42%)

③「自分の能力が生かせること」
(同33% 48%)

■仕事をするにあたって、あなたは次の項目はどの程度重要だとお考えですか？(ベスト5)

<川上-岡山仕事スケール>

0% 20% 40% 60% 80%



有職女性(n=1150)

因子分析では「社会での自分の存在を感じたい」という意識傾向が最も際立っている。

認められたい	人との出会い
社会貢献	社会に影響を与える
能力活かす	成長できる
創造力発揮	考えや工夫活かす
スキルが身に付く	新しいことを学ぶ
実力・実績認められる	価値あることの実感
上司信頼	やる気になる仕事
	チームワーク
男女差なし	昇進 一流

社会での存在感

能力発揮

能力獲得

組織・人間関係

出世

1993年度調査との比較

1993年

1. 自分の成長が実感できる**成長因子**
2. 考えが生かせる**能力発揮因子**
3. 上司を信頼・チームワークで楽しく仕事ができる楽しい**仕事因子**
4. 昇進ができる、給与が高い**昇進・昇格因子**

2008年

1. 社会を通して社会で認められて社会に貢献できる社会での**存在感因子**
2. 考えが生かせる**能力発揮因子**
3. 仕事を通してスキルや新しいことが学べる**能力獲得因子**
4. 上司を信頼・チームワークで楽しく仕事ができる楽しい**仕事因子**
5. 昇進ができる、給与が高い**出世因子**

なりたい女性像 — 働く女性が考える「素敵な女性」 —

自然体で前向きな女性が今どきの素敵な女性。

①「前向きに生きている」
(**そう思う** 56% **ややそう思う** 37%)

②「自然体で生きている」
(**同** 49% 41%)

③「いつも明るい」
(**同** 48% 41%)

④「自分を大切にしている」
(**同**46% 43%)

など内面的な要素を磨いている
女性に素敵さを感じている。

有職女性(n=1150)

■あなたにとって『素敵な女性』とは、どのような要素を備えた人ですか？(34項目からのベスト5)

<素敵な女性児玉・岡山スケール>

0 20 40 60 80 %

前向きに生きている

56.4

36.6

自然体で生きている

49.2

40.5

いつも明るい

48.2

41.3

自分を大切にしている

45.5

43.2

無理をしない生き方をしている

42.5

44.4

■ **そう思う**

■ **ややそう思う**

回答の傾向を見ると「異性との共同・女性として素敵であること」も強く意識している。

異性の協力者をもっている

パートナー(夫)がいる

いろいろなスポーツができる

可愛らしさがある

素肌が美しい

洋服のセンスがある

いつも明るい

自分を大切にしている

包容力がある

人のために奉仕ができる

料理が上手

自然体で生きている

本をたくさん読んでいる

美術、音楽などの造詣が深い

仕事ができる

リーダーシップがある

異性からもてる

生活臭がない

スタイルがよい

性的魅力がある

メイクが上手

友達、仲間が多い

人に頼られる

同性からもてる

家庭人として有能

無理をしない生き方

想像力がある

論理的思考ができる

異性との共同

キレイ

頼れる女友達

よき主婦

ナチュラル

教養

キャリアウーマン

1991年調査との比較

1991年

1. 家族や友人に愛され、**家庭内のスキル**に優れた女性
2. 賢くて気丈、知性にあふれる**背筋の伸びた**女性
3. 容姿がよく、**マドンナのような**女性
4. 生活臭のない、**華のある**女性
5. **夫、恋人がいる**女性
6. 自由なお金も協力者もある**人生思いのまま**の女性

2008年

1. パートナーや異性の協力者を持ち、**異性との共同ができる**女性
2. スタイルがよく、ファッションセンスのある他から**キレイ**と認められる女性
3. 明るく、友達・仲間が多く、**人に頼られる**女性
4. 料理が上手、奉仕のできる、**家庭人として有能な**女性
5. 無理をしない**自然体**で生きている女性
6. 本や美術・音楽などの深い**教養がある**女性
7. リーダーシップがあり**仕事ができる**女性

実際の仕事への意識や

社内的な立ち位置は？

周囲の顔色も気にしつつ…。

仕事の仕方・考え方として多いのは

「他人から不機嫌な顔をされたくない」
(**そう思う**28% **ややそう思う**46%)

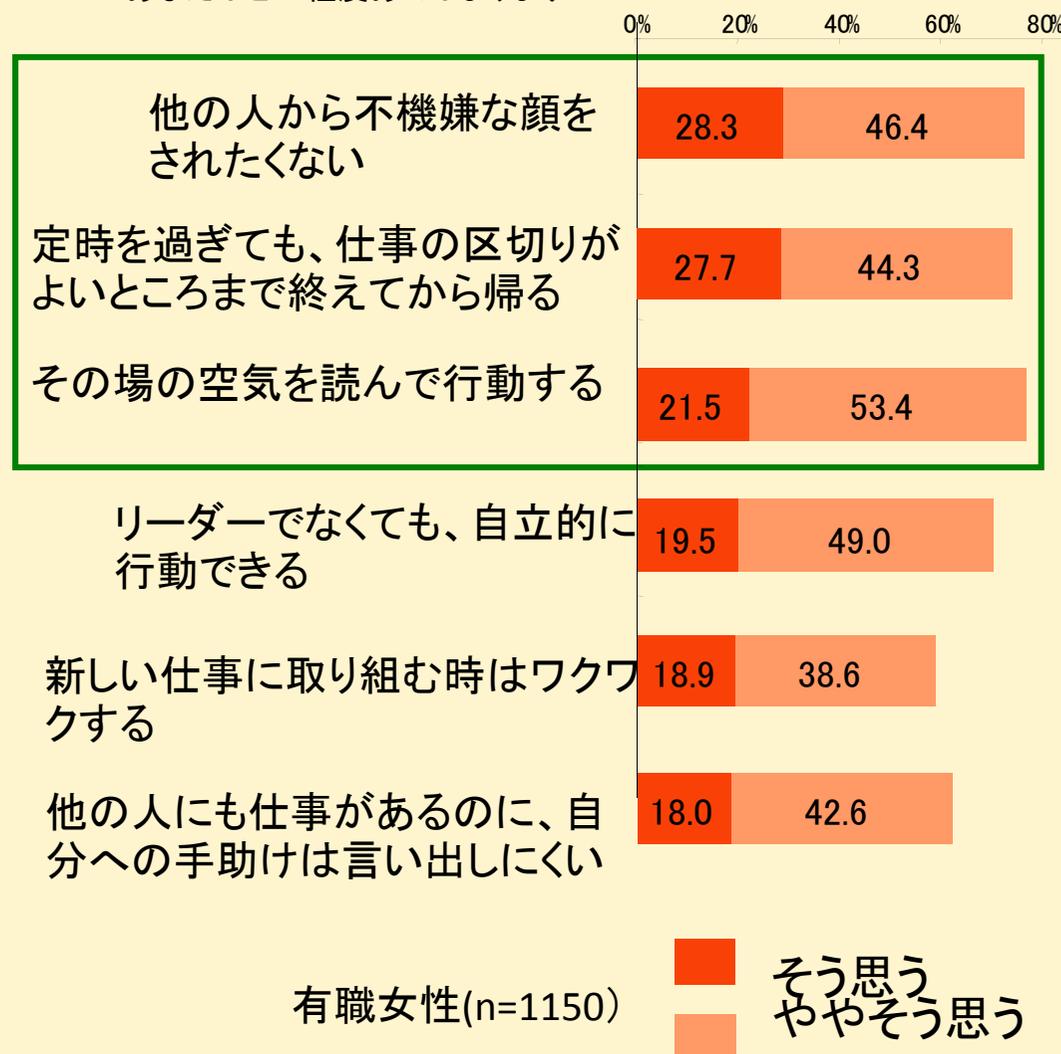
「定時を過ぎても区切りがよいところまで終えてかえる」(**同** 28% 44%)

「その場の空気を読んで行動する」(**同** 22% 53%)。

周囲との調和を考える項目が上位

■仕事の考え方(上位5つ)

次のような職場での仕事の仕方や考え方などについて、あなたはどの程度あてはまりますか？

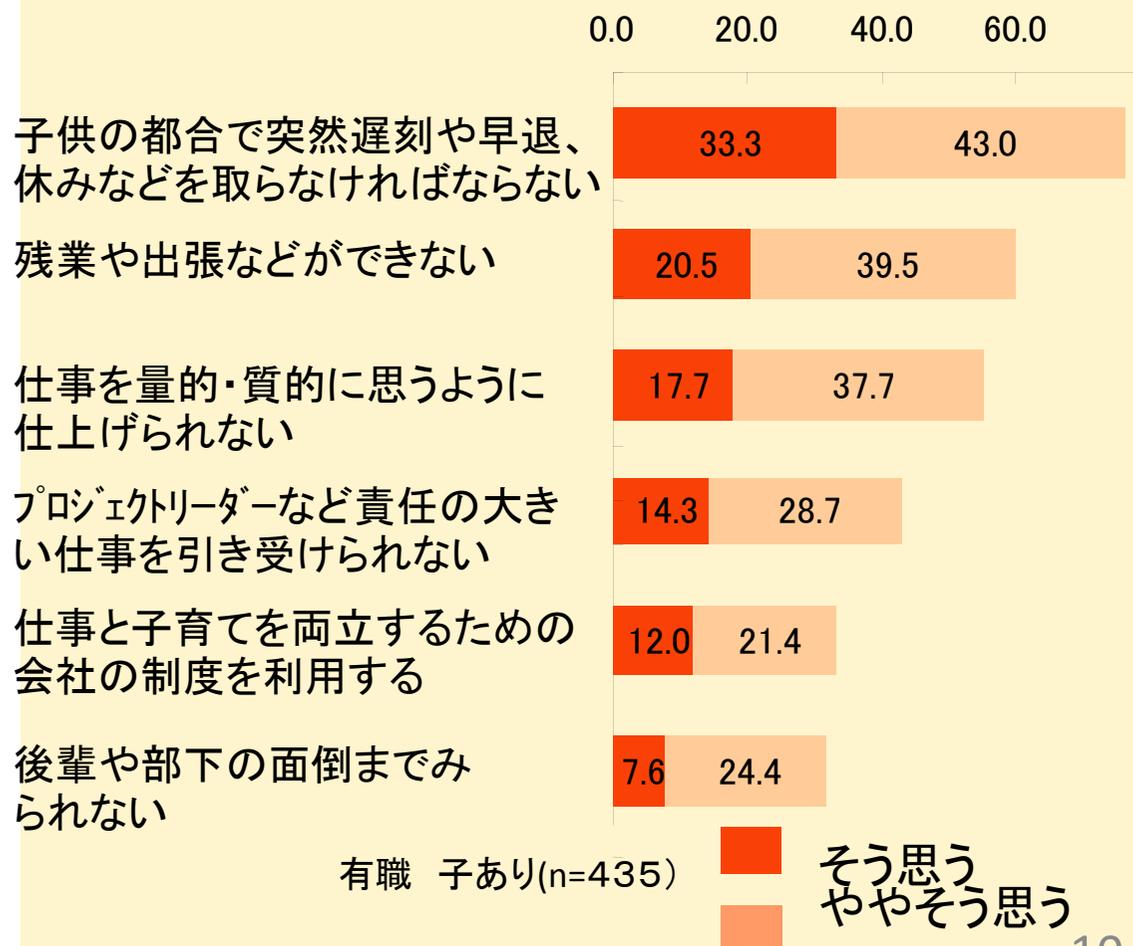


子どもの都合での急な休み・遅刻早退は8割近くが「心苦しい」。

「子どもの都合での急な遅刻・早退・休みなどを取らなければならない」（**そう思う34%** **ややそう思う44%**）が、際立って「心苦しい」と思うこと。

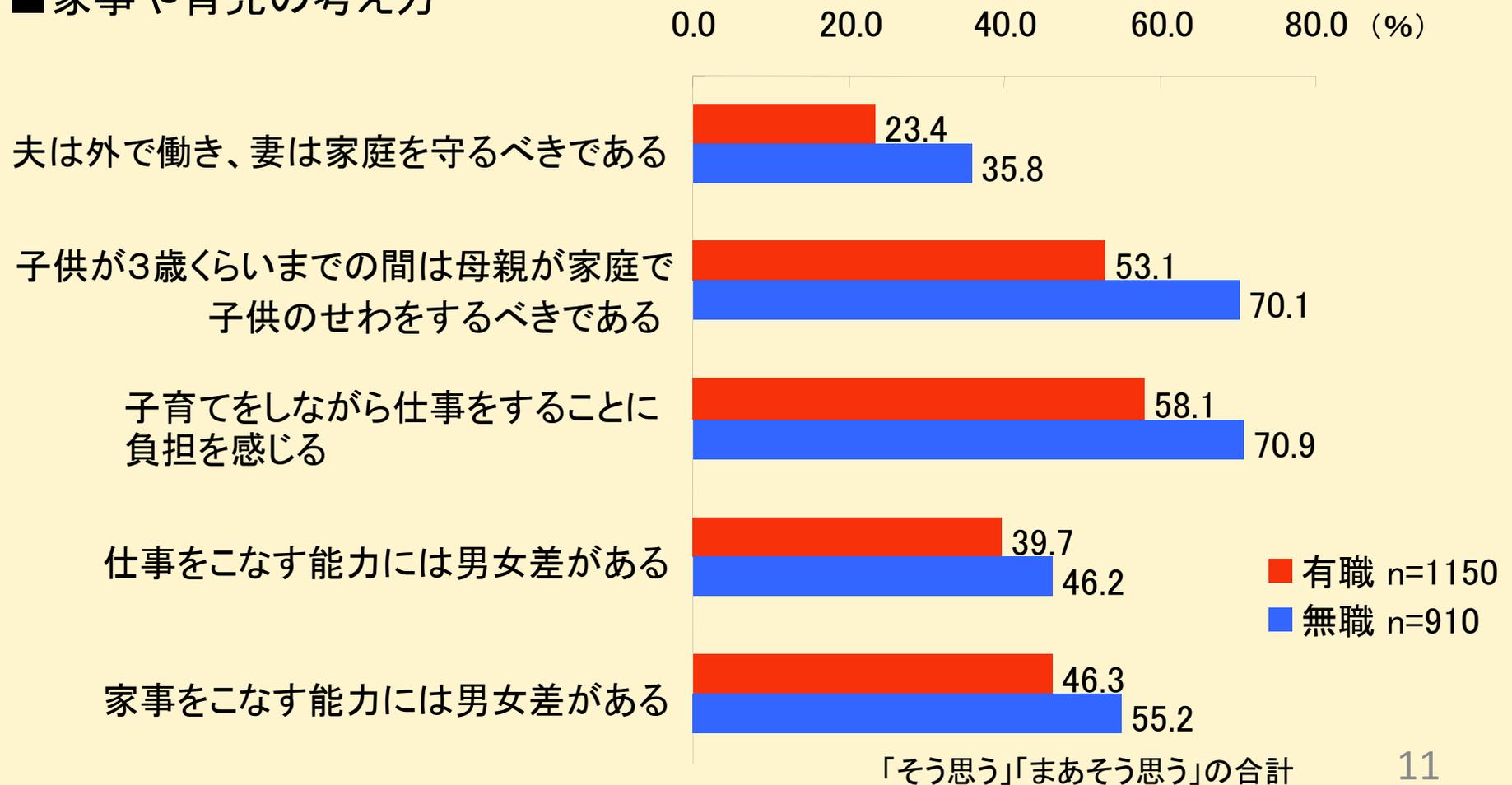
ついで「残業や出張ができない」など、仕事を十分にできないことが上がっている。

■職場で、家庭や子供の関係で次のようなことがあった場合、あなたは心苦しく思うほうですか？



「3歳までは母親が家庭で世話をすべき」「子育てと育児の両立は負担」という考えは、無職だけでなく有職女性も半数以上が肯定。

■家事や育児の考え方



* 人間関係

○子どもの病気などで休むことが増、同僚に迷惑がかかる(36歳 子ども2人育休中、保育園申請中)

○男性社員の大半は両立がいかに大変かわからない(39歳 子ども3人)

○打上や飲み会など、人付き合いの面で融通の悪さを感じている人がいる。残業を精一杯こなしている人から見て、いつも適当な時間で切り上げて帰る私を、快く思っていない人もいます。(38歳 子ども1人フルタイム保育園1歳10ヵ月妊娠中)

○会社に迷惑がかかる。周囲に気を使わせてしまう(早く帰りなよと言われる。飲みみに誘われない等)。(29歳 子ども1人フルタイム保育園2年)

○子どもの病気などで休むと、期待されていることができず、お互いにいい感情を持って仕事できない。特に女の人との理解が得にくいです(44歳 子ども2人フルタイム3歳保育園2年目1歳保育園1年目)

○育てや介護中の職員に対し、迷惑な存在というような視線を投げってくる人が、男性だけでなく女性にも少なからずいる。(49歳 子ども1人小学3年。介護離職、25年4月に復帰予定)

* 自分の職場での立場の低下、希望する仕事につけない

○仕事量が減る。仕事を選べない。子どもが病気になると休んだりして、あてにされなくなる(36歳 子ども1人0歳11ヶ月)

○仕事に穴を開けたり、それにより不信感を与えたりしそう(36歳 子ども1人、復帰後)

○残業は頻回にできないので、帰るときに後ろめたい思いがある。(34歳 子ども1人復帰後)

○時間の制約が出来たために使いにくい社員になる, その分周囲に負担がかかる(35歳 子ども2人復帰後)0

○時短を取得すると職場でいろいろ言いづらくなる。(28歳育休中0歳11ヶ月)

○残業不可というだけで仕事がない。どこかで無理せざるをえない。スキルアップができるか不安。次々変わる派遣先で慣れることが出来るか不安。そう言っている間に年齢と能力に限界がきてしまいそう(36歳 子ども1人復帰後今年5月復帰)

* 自分の時間がない

○常に時間におわれる感じ。自分のための時間がない。(43歳 子ども1人フルタイム8歳9ヶ月 小学3年生女子)

○休暇等自分のリフレッシュの時間はほぼ取れない。(48歳 子ども2人フルタイム小学6年生小学1年生)

* 夫との関係悪化

○夫以外の理解者がいない、友人達に子どもがいない。(41歳 子ども2人フルタイム9歳 4歳)

○夫と喧嘩が増えた(意見の違い)(36歳 子ども1人復帰後20年7月復帰)

○子どもが生まれてから夫と人生を共に歩めないと思った。精神的な支えがほしい(37歳 子ども2人フルタイム)

○側で支えてくれる人！離婚＋再婚(39歳 子ども1人フルタイム小学6年生)

* 仕事の継続、

○夫や私の転勤や、それに伴う引っ越し、転職でも働いていけるか。ロールモデルが欲しいです(35歳フルタイム 妊娠中)

* 子どもの時間がとれない、向き合えない

○働くことで子どもにマイナスが生じるのではないかと不安。(小学4年 小学2年 2歳)

○祖父母が近くにいるわけではなく少し不安(35歳 子ども2人育休H22年4月)

○冷凍食品、外食などに頼ることを割り切れない。

○必要なサポート: 義父母の面倒を見てくれる人。子供達の成績を上げてくれる人(47歳 子ども2人フルタイム14歳女子9歳男子)

○精神的な余裕がないため、つらくあたってしまうことがあり、それが一番つらいです。(38歳保育所1歳児クラス)

○何とか生活に必要な最低限のことはこなせていますが、子どもと接する時間が取れていません。(38歳 子ども1人復帰後)

○学校行事に出られない。(48歳 子ども2人フルタイム小学6年生小学1年生)

○仕事も子育てもどちらも中途半端になるのではないかと不安(33歳 子ども1人育休)

* 自分自身の仕事のクオリティの低下

○自分の仕事の質が落ち、できる量が減ってしまうのではないか。周囲の人に迷惑を掛ける事があるかも知れない。(29歳 フルタイム。妊娠中)

○物事を責任持ってやり通せない、発言もいい加減になってしまうし、生活するだけで精一杯でアイデアもなにも浮かばない(37歳 子ども2人復帰後)

○子どもがいることで自分に言い訳している気がして、それが嫌です。自宅では週末も夜も仕事ができない(しないと自分で決めているため。きっと無理すればできると思います)。やらなければならないことが期限までに終わらない。(33歳 子ども1人。復帰)

○1人分の仕事量を背負っていない。時間のゆとりがない(32歳 子ども1人フルタイム保育園0歳児クラス)

* 体力がもつか

○子どもの送り迎え、世話、仕事で1日がアツという間に過ぎて体力的に持つかどうか心配。休みを取る日が増えて周りの人に迷惑を掛けてしまうのでは(31歳 子ども0人フルタイム。妊娠中)

○時間的、精神的制限が疲労につながり仕事でミスをしやすくなるかもしれない(37歳 子ども1人。復帰)

* ほしい支え、たりない支え

- 何でも話せるママ友達(29歳 子ども1人フルタイム保育園2年)。
- 専門家に相談し心のバランスをとる(29歳 子ども1人フルタイム保育園2年)。
- 仕事をする間安心して子どもを預けること。**精神的余裕**(36歳 専業主婦子ども2人9歳小学4年生3歳)
- サポート:**自分の精神的余裕**。夫の理解と子どもが泣き叫ばないこと。(38歳 子ども1人フルタイム保育園3歳5ヵ月)
- 私は家事、育児、仕事と介護とフル稼働夫は協力しない。自分が働きたいというより働かざるを得ない。子どもの病気や行事休むと、職場に迷惑かけたことで自分が気負いすることがある。**精神的サポート**がほしい(52歳 子ども2人フルタイム16歳13歳)



きっと、
もっと輝く私。

NPO法人

【仕事と子育て】カウンセリングセンター

(NPOの概要)

女性が、仕事と子育ての両立にあたり直面するさまざまな課題に対応するための支援活動を行います。妊娠・出産・子育て期間中に発生する負担やストレスを軽減し、子どもを産み育てやすいとともに、子どもをもつ女性が、充実感をもっていきいきと生活できる、活力ある社会の実現に寄与することを目的としています。

女性が、主体的に充実感をもって「仕事と子育ての両立」を実現できるよう、その他の事業活動によって支援します。

「カウンセリング事業」を通じて、女性が働き方と子育てについてどのような選択をしたのかをじっくりと考え、自分の生き方における価値観を再確認し、主体的に自分らしい「仕事と子育て」の道を選択し実践できるよう、中立的な立場でサポートをします。

カウンセリングスーパーバイザー

丸田 俊彦(まるた としひこ)

精神科医・米国 メイヨ・クリニック医科大学精神科名誉教授

慶応義塾大学医学部を卒業後、渡米。メイヨ医学部精神科教授などを歴任。32年間米国精神科臨床実践に携わり、04年帰国。
精神分析的な精神療法分野における第一人者としても知られる。

『私自身も仕事と子育ては、大きな興味の対象でした。女性が自分の選んだ生き方ができることは大切だし、パートナーと一緒に考え、シェアすることも意義のあることだと思います。「カウンセリング」という手法を使って意識を変えていこうという取り組みは、興味深く、大いに賛同できるものです。』

能力のある人が自分の能力を発揮できることも大切であるし、次の世代に生かせればよいと考えればよい。

このテーマの10年間の変化が大きいとすれば、この先の10年間も変化は大きい。女性だけで話す問題ではなく、男性も巻き込み。男女で話し合うことが次のステップとして重要である。

動機づけが近く強い。うまくすれば、助言だけで構造が変わる可能性がある。すでに存在する力を発揮できるようにすることが大切。自分が感じ、自分が思うことを大切にすることが大切。